

インシデントアクシデント報告

* インシデント・・・ 患者様に被害を及ぼすことはなかったが、日常診療の現場で“ヒヤリ”としたり“ハッ”とした経験を有する事例。

* アクシデント・・・ 医療に関わる場所で、医療の全過程において発生する全ての事故のうち、患者様に何らかの被害が及んだ事例。

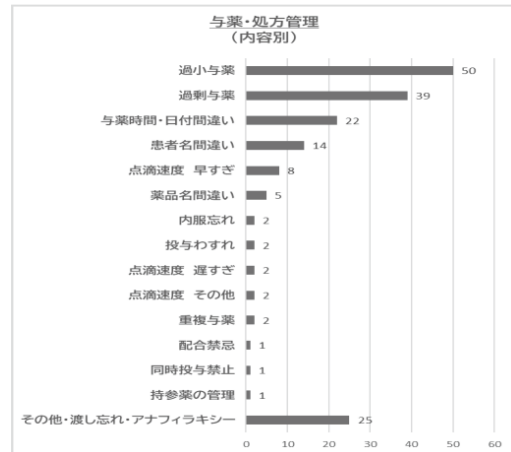
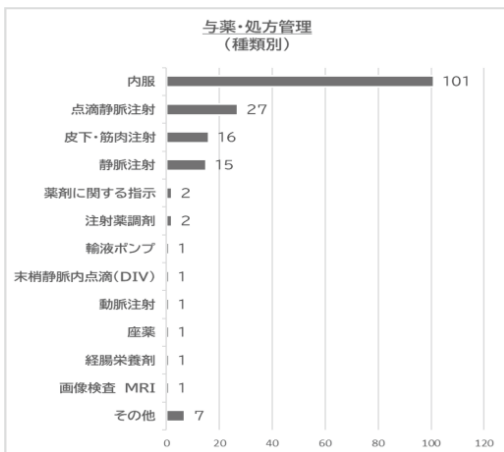
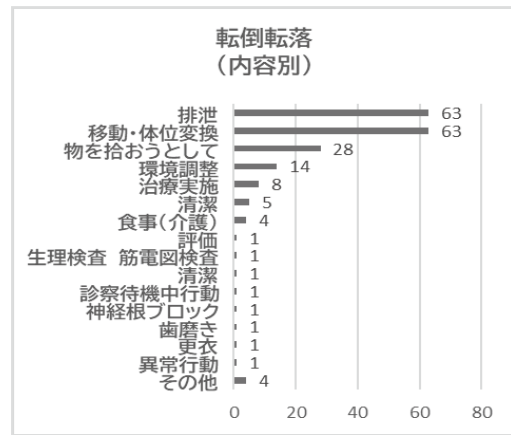
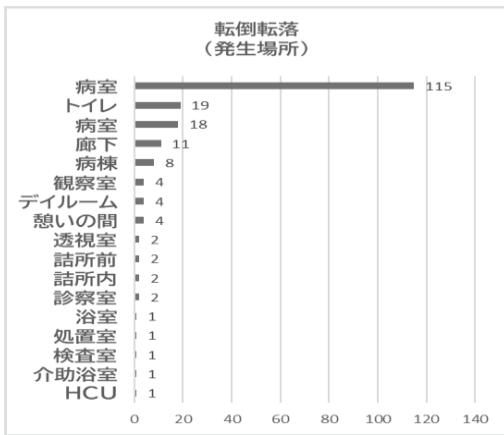
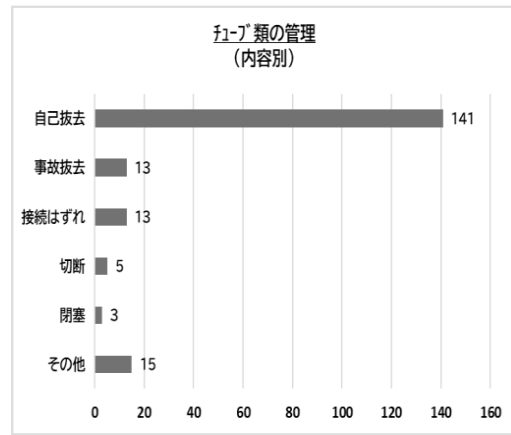
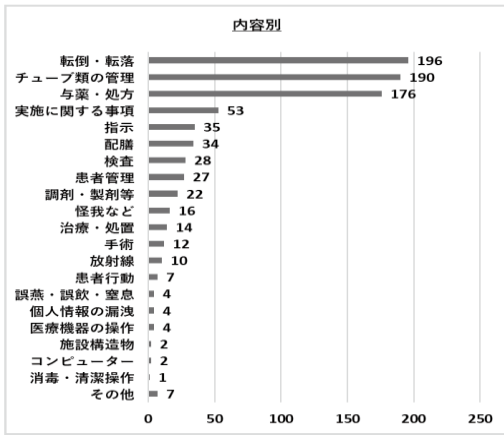
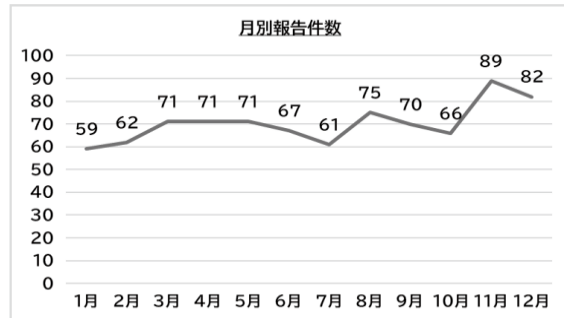
当院では医療事故対策の一つとして、国立大学付属病院 医療安全管理協議会で定めた「影響度分類」を参考にアクシデント・インシデント報告を下記の9段階に分けて集計しています。

| レベル | 傷害の継続性 | 傷害の程度 | 傷害の内容 |
|----------|--------|---------|---|
| レベル0 | - | - | エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった |
| レベル1 | なし | - | 患者への実害はなかった (何らかの影響を与えた可能性は否定できない) |
| レベル2 | 一過性 | 軽度～中程度 | 処置や治療は行なわなかった (患者観察の強化・バイタルサインの軽度の変化・安全確認のための検査などの必要性は生じた) |
| レベル3a | 一過性 | 中程度 | 簡単な処置や治療を要した(消毒・湿布・皮膚の縫合・鎮静剤の投与など) |
| レベル3b | 一過性 | 高度 | 濃厚な処置や治療を要した (バイタルサインの高度変化・人工呼吸器の装着・手術・入院日数の延長・外来患者の入院・骨折など) |
| レベル4a | 永続的 | 軽度～中程度 | 永続的な傷害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない |
| レベル4b | 永続的 | 中程度～高程度 | 永続的な傷害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う |
| レベル5 | 死亡 | - | 死亡(現疾患の自然経過によるものを除く) |
| レベルハイリスク | | | レベル0ではあるが、実施されたらレベル「4or5」が予想される |

< 添付資料：インシデントアクシデント報告実績 内訳 >

(対象期間：2023年1月1日～12月31日)

| レベル別 | | | |
|----------|--------|------|------|
| (レベル) | (報告件数) | (小計) | (小計) |
| ヒヤリハット | 12 | 831 | 841 |
| レベル0 | 14 | | |
| レベル1 | 543 | | |
| レベル2 | 175 | | |
| レベルハイリスク | 26 | | |
| レベル3a | 61 | | |
| レベル3b | 10 | 13 | 3 |
| レベル4b | 3 | | |
| (合計) | 844 | | |



医療安全管理
たんぽぽ